

佐賀市・佐賀大学・伊藤忠エネクスと共同し、CO₂を活用した大豆育成研究プロジェクト開始のお知らせ

不二製油グループ本社株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役：酒井 幹夫、以下、当社）は、佐賀市（市長：坂井 英隆）、国立大学法人佐賀大学（学長：兒玉 浩明、以下、佐賀大学）、伊藤忠エネクス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：岡田 賢二、以下、伊藤忠エネクス）と共同で2022年5月よりCO₂を利用した大豆の育成研究プロジェクトを開始いたしましたのでお知らせします。



佐賀市の清掃工場にあるCCU



収穫された大豆（イメージ）

本研究プロジェクトは、温室効果ガスであるCO₂を食料資源の生産に有効活用し、カーボンサイクルとCO₂削減を目指す取り組みになります。まず初めにCO₂を吸収することにより成長が早まる大豆の特性を活かした効率的な大豆の生育を研究することを目的とし、佐賀大学の実験施設において実証試験を開始します。将来的には佐賀市の清掃工場にあるCCU（Carbon dioxide Capture and Utilization 以下、CCU）で回収されたCO₂を利用した植物工場による国産大豆の生産を念頭に置いております。

現在、佐賀市の清掃工場ではごみを焼却した際に発生する排ガスからCO₂のみをCCUで分離回収し、隣接する農業・藻類事業者へCO₂を供給しています。今回のプロジェクトにより、今後は段階的に栽培規模を拡げていき、将来的には、この栽培システムで生育した国産大豆を不二製油グループの技術を用いたサステナブルな大豆製品として事業化し、広く皆さまにお届けしたいと考え、共同研究契約を締結しました。当該研究プロジェクトは産官学一体となって連携し、長期的に取り組んでまいります。

不二製油グループは、1950年の創業以来、植物性素材による社会課題の解決を目指しております。事業を通じて食のサステナビリティ課題を解決し、SDGs（国連の持続可能な開発目標）の達成に貢献してまいります。

<ご参考：関係者の概要と当該プロジェクトにおける主な役割>

■ 佐賀市

所在地：佐賀市栄町 1 番 1 号

代表者：佐賀市長 坂井 英隆

役割：清掃工場から CCU で回収された CO₂等の情報の提供

■ 国立大学法人 佐賀大学

所在地：佐賀県佐賀市本庄町 1 番地

代表者：学長 児玉 浩明

役割：当該プロジェクトにおける大豆育成の研究

■ 伊藤忠エネクス株式会社

所在地：東京都千代田区霞が関 3 丁目 2 番 5 号霞が関ビルディング

代表者：代表取締役社長 岡田 賢二

役割：植物工場でのエネルギーサービスプロバイダー

■ 不二製油グループ本社株式会社

所在地：大阪府大阪市北区中之島 3 丁目 6 番 32 号ダイビル本館

代表者：代表取締役社長 酒井 幹夫

役割：育成した大豆を活用した PBF（プラントベースフード）製品の開発・マーケティング



左から 伊藤忠エネクス 執行役員 田中文弥 電力・ユーティリティ部門長、佐賀大学 農学部植物遺伝育種学分野 渡邊啓史准教授、佐賀市 坂井英隆市長、佐賀大学 農学部施設園芸学分野 後藤文之教授、不二製油グループ本社 取締役上席執行役員 門田隆司 最高技術責任者（CTO）兼 ESG 担当